nikko am
Nikko Asset Management

インデックスファンドＢＤＣ（毎月分配型）

追加型投信／海外／その他資産／インデックス型

交付運用報告書

第65期（決算日2019年６月20日）　第66期（決算日2019年７月22日）　第67期（決算日2019年８月20日）
第68期（決算日2019年９月20日）　第69期（決算日2019年10月21日）　第70期（決算日2019年11月20日）

作成対象期間（2019年５月21日～2019年11月20日）

第70期末（2019年11月20日）	
基準価額	7,445円
純資産総額	109百万円
第65期～第70期	
騰落率	△ 2.8%
分配金（税込み）合計	300円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インデックスファンドＢＤＣ（毎月分配型）」は、2019年11月20日に第70期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）やＢＤＣに関連する証券に実質的に投資を行ない、ＢＤＣ市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
www.nikkoam.com/

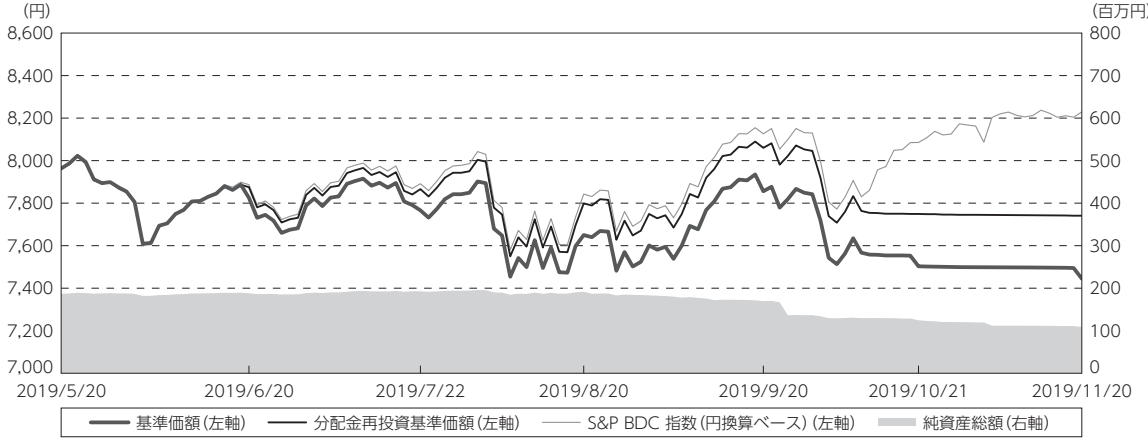
当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120－25－1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2019年5月21日～2019年11月20日）



第65期首： 7,963円
第70期末： 7,445円（既払分配金(税込み)：300円）
騰　落　率：△ 2.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額およびS&P BDC 指数（円換算ベース）は、作成期首（2019年５月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）S&P BDC 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）やＢＤＣに関連する証券に実質的に投資を行ない、ＢＤＣ市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・米国の主要企業の堅調な業績発表などを背景に株式市場が上昇したこと。
・主要なＢＤＣの業績が市場予想を上回ったこと。
・米国の長期金利の低下によって、ＢＤＣの相対的な高利回りの魅力度が高まったこと。

＜値下がり要因＞

・低調な内容の米国や中国、ドイツの経済指標や、米中貿易摩擦の深刻化などを背景として、世界経済の先行きに対する懸念が強まったこと。
・円高／アメリカドル安が進行したこと。

１万口当たりの費用明細

（2019年5月21日～2019年11月20日）

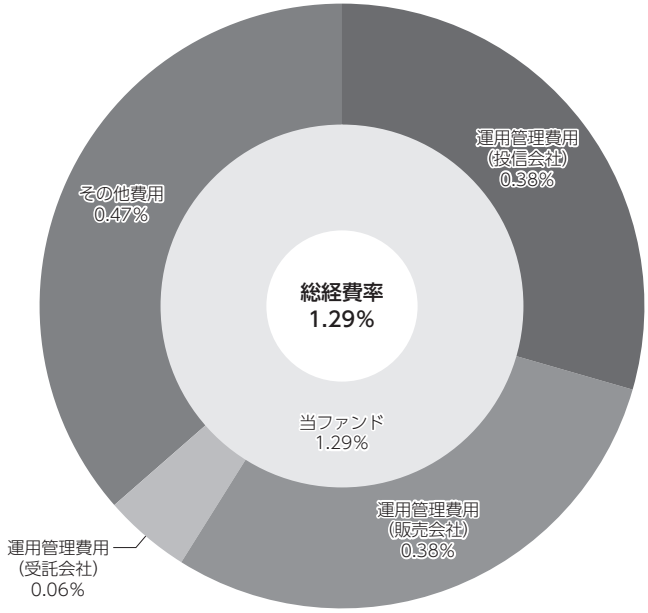
項目	第65期～第70期 金額	第65期～第70期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	32	0.415	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(15)	(0.194)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(15)	(0.194)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(2)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	36	0.466	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(36)	(0.466)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	18	0.239	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(12)	(0.152)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(4)	(0.048)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	(3)	(0.037)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	86	1.122	
作成期間の平均基準価額は、7,723円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

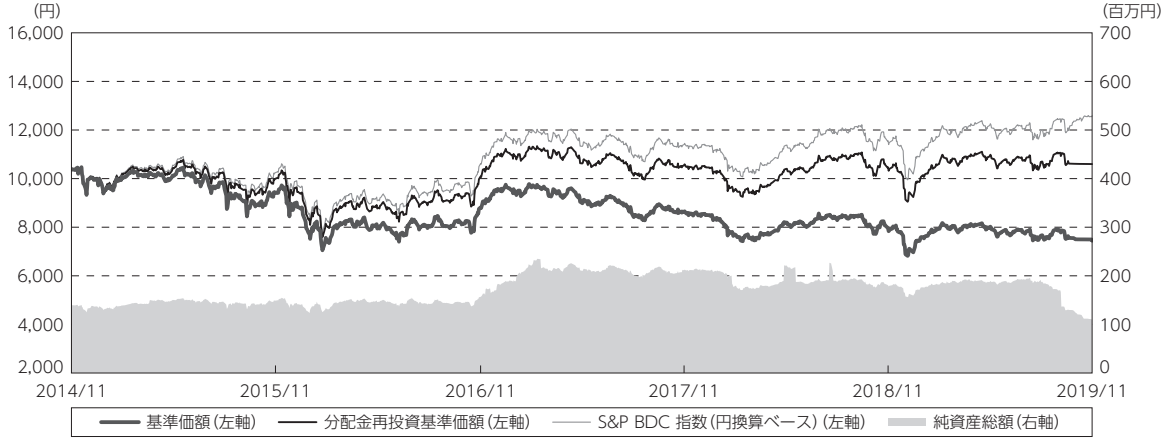
作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.29%です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2014年11月20日～2019年11月20日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額およびS&P BDC 指数（円換算ベース）は、2014年11月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年11月20日 決算日	2015年11月20日 決算日	2016年11月21日 決算日	2017年11月20日 決算日	2018年11月20日 決算日	2019年11月20日 決算日
基準価額　(円)	10,363	9,400	8,810	8,617	7,943	7,445
期間分配金合計（税込み）　(円)	－	600	600	600	600	600
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	△ 3.5	0.9	4.5	△ 0.7	1.3
S&P BDC 指数(円換算ベース)騰落率　(%)	－	△ 1.1	3.6	7.4	1.4	8.9
純資産総額　(百万円)	141	148	156	211	180	109

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）S&P BDC 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

（2019年5月21日～2019年11月20日）

（ＢＤＣ市況）

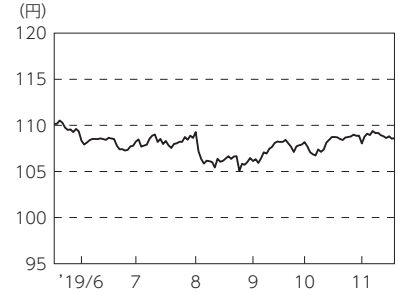
米国ＢＤＣ市況において、S&P BDC 指数は期間の初めと比べて上昇しました。

低調な内容の米国の経済指標や、中国およびドイツの経済指標の悪化、米中貿易摩擦の深刻化などを背景とした世界経済の先行きに対する懸念が強まったことなどが、ＢＤＣ価格の下落の要因となったものの、米国連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による利下げや利下げ観測の継続などを受けて米国の長期金利が低下し、ＢＤＣの相対的な高利回りに対する魅力が高まったことや、大手ＢＤＣが市場予想を上回る業績を発表したこと、米国主要企業の堅調な業績などを背景に株式市場が上昇したこと、米中貿易協議での正式な部分合意に向けた進展や、英国と欧州連合（ＥＵ）との間の離脱協定改定案の合意などによる英国の合意なきＥＵ離脱回避への期待などから、市場のリスク選好姿勢が強まったことなどを背景に、S&P BDC 指数は上昇しました。

（為替市況）

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2019年5月21日～2019年11月20日）

（当ファンド）

当ファンドは、「インデックス マザーファンド ＢＤＣ」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（インデックス マザーファンド ＢＤＣ）

主として、米国の金融商品取引所に上場されているＢＤＣやＢＤＣに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行なわず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

「インデックスファンドＢＤＣ（毎月分配型）」が、2020年１月28日をもちまして繰上償還することになりましたため、組入銘柄をすべて売却し、コール・ローンなどで運用しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年5月21日～2019年11月20日）

期間中における基準価額は、2.8%（分配金再投資ベース）の値下がりとなり、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」の上昇率3.3%を概ね6.1%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

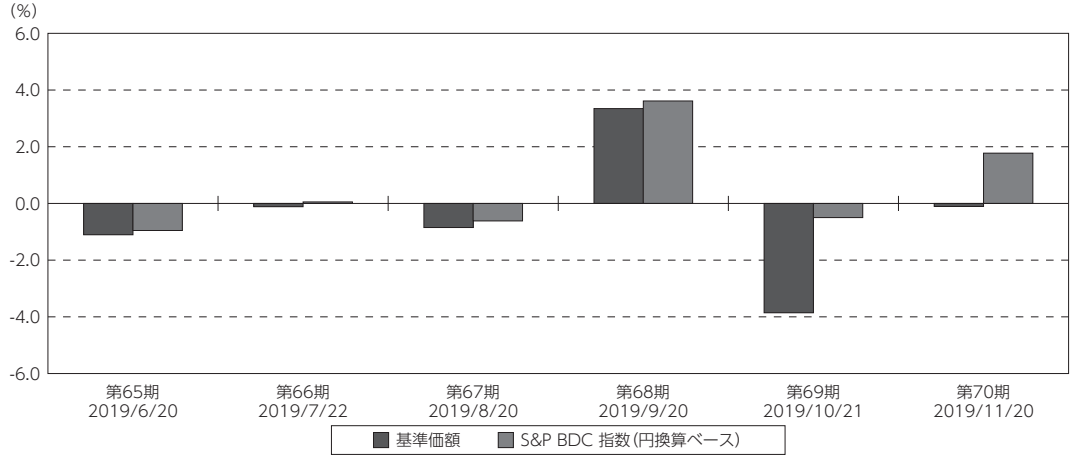
＜プラス要因＞

・銘柄選択に基づく要因。

＜マイナス要因＞

・銘柄選択に基づく要因。
・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
・海外カストディ・フィーや売買手数料などの諸費用。
・繰上償還に備えた組入銘柄の売却の影響。
・信託報酬などの諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
（注）S&P BDC 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

（2019年5月21日～2019年11月20日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	2019年５月21日～2019年６月20日	2019年６月21日～2019年７月22日	2019年７月23日～2019年８月20日	2019年８月21日～2019年９月20日	2019年９月21日～2019年10月21日	2019年10月22日～2019年11月20日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	0.635%	0.640%	0.649%	0.632%	0.662%	0.667%
当期の収益	50	34	19	50	6	－
当期の収益以外	－	15	30	－	43	50
翌期繰越分配対象額	1,021	1,006	976	1,023	979	929

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インデックス マザーファンド ＢＤＣ」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（インデックス マザーファンド ＢＤＣ）

「インデックスファンドＢＤＣ（毎月分配型）」が、2020年１月28日をもちまして繰上償還することになりましたため、組入銘柄をすべて売却いたしました。償還まではコール・ローンなどでの運用を継続いたします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

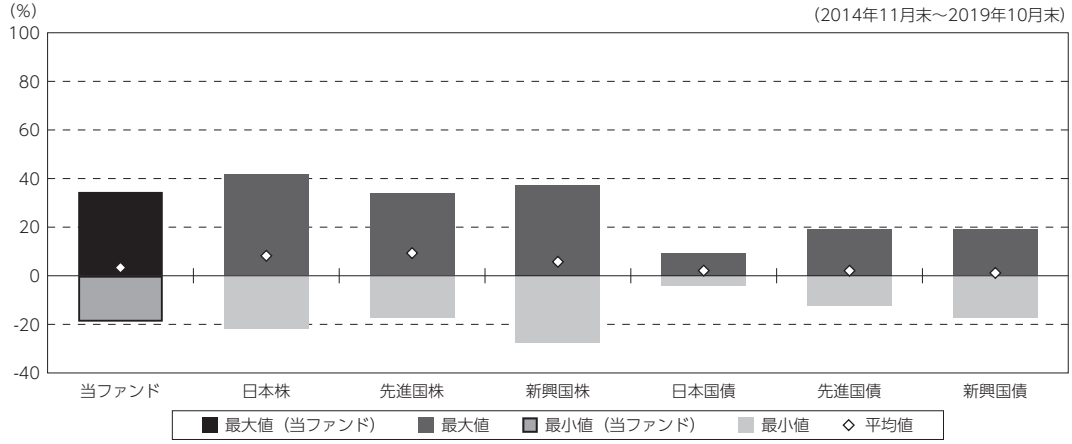
2019年５月21日から2019年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産／インデックス型	
信託期間	2014年２月18日から2020年１月28日までです。	
運用方針	主として、「インデックス マザーファンド ＢＤＣ」受益証券に投資を行ない、ＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	インデックスファンドＢＤＣ（毎月分配型）	「インデックス マザーファンド ＢＤＣ」受益証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド BDC	ＢＤＣやＢＤＣに関連する証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、「インデックス マザーファンド ＢＤＣ」受益証券に投資を行ない、ＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。流動性などを考慮して、ＢＤＣに加え、ＢＤＣに関連するＥＴＮ（「上場投資証券」または「指標連動証券」と呼ばれます）などに投資する場合もあります。原則として、為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	第１計算期および第２計算期は収益分配を行ないません。第３計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.5	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 18.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	3.3	8.2	9.3	5.8	2.1	2.1	1.2

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2014年11月から2019年10月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象インデックスを用いて算出しております。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込）
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●S&P BDC 指数（円換算ベース）

「S&P BDC 指数」は、米国のBDC市場の動きを表す指数です。ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するBDCを対象に、浮動株調整後の時価総額加重を基本として算出されます。同指数の（円換算ベース）とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。**●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●NOMURA-BPI国債**は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。**●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。**●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

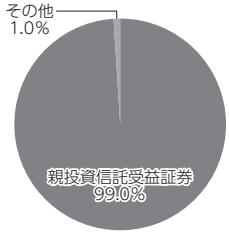
（2019年11月20日現在）

○組入上位ファンド

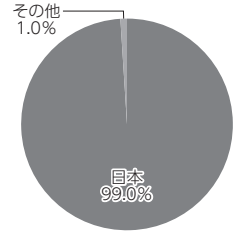
銘　　柄　　名	第70期末
	%
インデックス マザーファンド ＢＤＣ	99.0
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

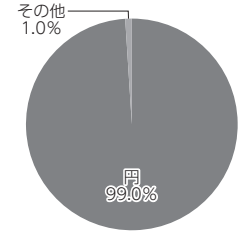
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項　　目	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末
	2019年６月20日	2019年７月22日	2019年８月20日	2019年９月20日	2019年10月21日	2019年11月20日
純資産総額	188,073,815円	192,668,179円	191,684,112円	169,758,404円	124,580,354円	109,020,517円
受益権総口数	240,364,661口	248,097,536口	250,581,187口	216,100,383口	166,044,113口	146,430,747口
１万口当たり基準価額	7,825円	7,766円	7,650円	7,856円	7,503円	7,445円

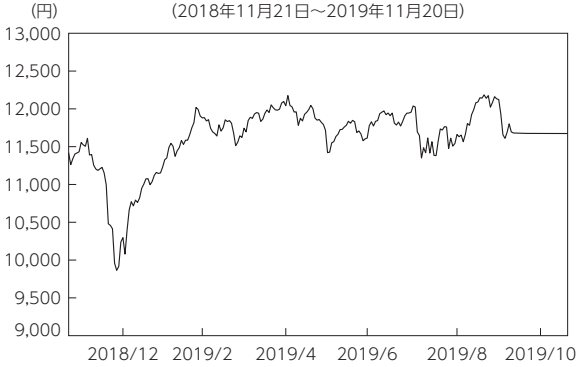
（注）当作成期間（第65期～第70期）中における追加設定元本額は22,816,868円、同解約元本額は111,144,106円です。

組入上位ファンドの概要

インデックス マザーファンド ＢＤＣ

【基準価額の推移】

（2018年11月21日～2019年11月20日）



【１万口当たりの費用明細】

（2018年11月21日～2019年11月20日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	57	0.491
（投資信託証券）	(57)	(0.491)
(b) 有価証券取引税	0	0.002
（投資信託証券）	(0)	(0.002)
(c) その他費用	39	0.338
（保管費用）	(31)	(0.266)
（その他）	(8)	(0.073)
合計	96	0.831
期中の平均基準価額は、11,629円です。		

（注）上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

（2019年11月20日現在）

2019年11月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。